

2022年12月14日

輸送動向について（2022年11月分）

1. 輸送概況

コンテナは、新型コロナウイルス感染症および原材料費高騰に伴う物価上昇による消費の低迷の影響を受けたものの、半導体不足が緩和傾向にあること等により一部の品目では前年を上回り、全体ではほぼ前年並みとなった。

紙・パルプは、紙需要減に伴う生産減により低調となったほか、食料工業品は、10月に行われた飲料等の値上げの影響により消費が伸びず減送となった。

一方、自動車部品および家電・情報機器は、半導体不足および海外からの部品調達困難が緩和傾向にあり増送となった。コンテナ全体では前年比99.3%となった。

車扱は、石油が新型コロナウイルス感染症の影響緩和により前年を上回った一方で、セメントは下回った。車扱全体では前年比99.9%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比99.4%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,653	1,665	99.3%	12,212	12,309	99.2%
車 扱	687	687	99.9%	4,984	4,881	102.1%
合 計	2,340	2,353	99.4%	17,197	17,190	100.0%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	173	172	1	101.1%
	化学工業品	138	140	-2	98.3%
	化学薬品	110	112	-2	97.6%
	食料工業品	256	262	-6	97.6%
	紙・パルプ	186	192	-6	96.4%
	他工業品	117	111	6	105.8%
	積合せ貨物	281	279	2	100.9%
	自動車部品	61	53	8	115.7%
	家電・情報機器	31	28	3	108.8%
	エコ関連物資	37	41	-4	89.5%
	その他の他	264	275	-11	95.8%
コンテナ計	1,653	1,665	-12	99.3%	
車 扱	石油	486	472	14	103.0%
	セメント・石灰石	100	115	-15	87.0%
	車 両	73	65	8	111.2%
	その他の他	28	35	-7	79.3%
	車 扱 計	687	687	0	99.9%
合 計		2,340	2,353	-13	99.4%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)